「住んでよし、訪れてよしの新潟県」を目指して

1. はじめに

新潟県は、広い県土(面積:全国5位)と長大な河川(県管理延長:全国2位)や海岸線(要保全延長:全国4位)を有し、海抜ゼロメートル地帯を含む少ない低平地に人口・資産・経済活動基盤が集積(宅地面積割合:4.3%,県土の2%に満たない市街地に県人口の約5割が居住)しています。また、急峻な地形と脆弱な地質からなる中山間地では、地すべり等の危険箇所が多いことなどから、洪水や土砂災害等の自然災害リスクが非常に高く、平成16年の中越大震災、平成23年7月新潟・福島豪雨、平成28年1月の中越地域の集中豪雪による交通障害等に代表されるように、数多くの記録的な大規模自然災害に見舞われてきました。

2. 近年の大規模災害から気付かされたこと

近年、全国各地で大規模な自然災害が頻発しており、多くの尊い命や住み慣れた街並みが一瞬にして失われる事態が発生しています。さらに、気候変動の影響による異常気象で、「数十年に一度」、「経験したことがない」という表現が毎年のように使われており、防災上必要な対策が追い付かないほど災害が激甚化しています。

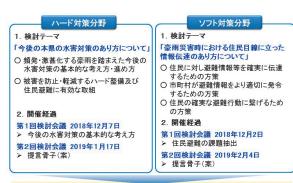
西日本を襲った平成30年7月豪雨では、行政からの避難情報が住民に届いていない、または避難情報が出ているのに住民が避難行動に移らないなど、避難行動につなげる防災情報のあり方に関

する課題も浮き彫りとなりました。

このような状況を踏まえ、全国知事会では平成 30年7月27日、防災・減災対策を新たなステージに進化させるための「北海道宣言」が採択され、各地でこれまでの防災・減災対策の総点検や検証が進められています。

3. 一段加速した防災・減災対策

昨年、本県では、防災・減災対策の強化に向けて、ハード対策とソフト対策のそれぞれの分野において「防災・減災対策の新たなステージに向けた検討会議」を設置し、議論を始めました。ハード面では、事前対応の対策の強化などに向けた今後の本県の水害対策のあり方、ソフト面では、豪雨災害時における住民目線に立った情報伝達のあり方等をテーマに検討しているところです。双方の会議とも、今後、有識者の方々からご提言をいただき、本年の出水期までに結論を取りまとめたいと考えております。



今年5月を目途に県への提言とりまとめ

図-1 防災・減災対策の新たなステージに向けた検討会議



はなずみ 英世 新潟県知事

4. 新潟県総合計画

昨年6月、新潟県民の皆様から信任を頂き、新 潟県知事に就任いたしました。知事就任後、初め ての新年を迎え、「住んでよし、訪れてよしの新 潟県 | を目指す姿として、「県民最優先 | の県政 を実現していく決意を新たにしております。

本年2月に、この目指す姿を基本理念として掲 げた、県政の最上位計画である新潟県総合計画の 見直し案を公表したところです。今後、県議会等 での議論を踏まえて検討を重ね、年度内を目途に 成案を公表し、計画を着実に推進してまいります。

基本理念

「住んでよし、訪れてよしの新潟県」

県民の皆様が、新潟の魅力・新潟らしさ「新潟ブランド」を意識し、新潟に住んでいることを誇りに思い、これからも住み続けたいと思える新潟県、そして、 国内外の方々が新潟に魅力を感じ、訪ねてきていただける新潟県を目指します。

将来像I

安全に安心して暮らせる、暮らしやすい新潟

- 安全に安心して暮らせる新潟
- 県民すべてが生き生きと暮らせる新潟 誰もが社会参画できる新潟
- 将来像Ⅱ

地域経済が元気で活力のある新潟

- 多様な人や文化が交わる賑わいのある新潟
- 2 活力のある新潟

将来像皿

県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟 1 県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟

図-2 新潟県総合計画(案)(平成31年2月)

私は就任時に、できるだけ地域に足を運び、県 民の皆様の様々な声に丁寧に耳を傾け、積極的に 対話を行うことを基本姿勢として県政運営に取り 組むということを申し上げました。就任以降これ まで、市町村長との懇談会や車座トーク等、地域 の様々な方々との意見交換を通じて、県政課題に

ついての状況把握に努めてきたところです。今後 も、国や市町村と協力しながら、県政の様々な課 題に一つ一つ真摯に向き合い、全力で県政運営に 取り組んでまいります。

5. おわりに

今年の新潟県は、国内外から多くの方々をお迎 えする「交流の舞台」となります。5月に新潟市 で「G20新潟農業大臣会合」が開かれ、9月から 11月の「国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭」 では県内各地で様々な文化イベントが開催されま す。そして10月から年末には、「日本海美食旅(ガ ストロノミー)」をテーマとした「新潟県・庄内 エリア デスティネーションキャンペーン」が行 われます。いずれの場面においても、本県の魅力 を十分にお届けできるよう、関係者の皆様と共に 取組を進め、さらなる交流拡大につなげていきた いと思います。



皆様のご来県を心よりお待ちしております。